

地域への活動風景

10月9日 山田池東町いきいきサロン 握力測定を行いました。

ご自身の筋力を知る機会に加え、フレイル（虚弱）予防♪もしかめ指体操♪ウクレレ添えて、みなさんと一緒に頑張りました。「・・・おやゆび、こっちは小指、？」

「教えてもらっても続かんのよね～、どうしたら続かな～？」と。。

☆テレビを見ているとき等、ちょっとした生活の中で取り入れる事をお勧めします、とお伝えし、みなさん頷いてくれました！



11月3日 藤小まつり

車いす試乗体験 と 健康相談



福祉用具ダスキンさんと参加しました。

- ・電動車椅子
- ・アシスト付き歩行器



青空の下、安全運転で体験していただきました。

11月10日 田口山コミュニティ祭り

毎年秋に開催されている田口山校区のお祭りに包括より初めて出展させていただきました。高齢者向けに「元気チェックリスト」と「握力測定」を行い、また当日は多くの子どもたちも参加されるとのことで「輪ゴム鉄砲の射的」を併せて出展し、子育て世代の皆様にも枚方市高齢者サポートセンターの存在と活動内容を周知をさせていただきました。



当日はいろいろな世代の皆様が多くご来場され、地域の方との交流を一緒に楽しませていただきました。



子育て世代の親子とは射的遊びを通じて職員も一緒に楽しみ、普段ではなかなか交流のない若い世代の皆様とも交流ができました。これからの共生社会においては全世代が一丸となって、取り組む必要があり、高齢者サポートセンターにとっても楽しく、有意義な一日となりました。



【編集後記】

昨年度10月12日(土)に開催を予定しておりました、「すがわら健康まつり」ですが、台風の為やむなく中止にさせていただきました。沢山の方から中止を惜しむ声を頂きました。またご期待に沿えるよう、企画して参りますので、よろしくお願いいたします。



包括大潤会だより

VOL.63

令和2年冬

医療法人 大潤会

枚方市地域包括支援センター大潤会

枚方市長尾谷町3-6-20

072-857-0330

発行日：令和2年1月1日

発行責任者 管理者



新年あけましておめでとうございます。
今年の干支であるネズミの嗅覚は犬と同等かそれよりも勝ると言われています。私たちもよいお仕事ができるように嗅覚を鍛え成長して参りたいと思います。皆様のお力になれるよう、職員一同、一生懸命頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



各担当からの報告

社会福祉士

成年後見制度は民法改正により平成12年から始まり、今年で20年目となります。しかし制度の解りにくさから府内でも必要と思われる方の約3%（1万6千人程度）の利用にとどまっています。

制度の性格上、「お金の管理を人に任せる」というイメージだけが先行していますが、本来は「判断力が低下しても意思決定支援により、本人の意思を尊重されながら安心して生活ができる」が制度の趣旨です。

「これからの安心」の制度を、今後も皆様と一緒に考えていくことができればと思います。



今後の予定

【1月】28日 元気かい！藤阪

1月に各校区へ新年のご挨拶にお伺いさせていただきますので、宜しくお願いいたします♪

【2月】20日 藤阪ハイツ（友愛の会）にて介護予防講座

27日 自立支援型地域ケア会議

保健師等

2月19日（水）14:00～15:30(市民会館3階にて)介護予防ケアマネジメント研修～あなたならどのような質問をしますか？(医療面のアセスメント)～を行います。研修対象は居宅ケアマネさんと包括職員です。お忙しいとは思いますが、ご参加宜しくお願いいたします。

主任ケアマネ

今年度が多職種連携研究会を令和2年3月18日に開催いたします。昨年11月に事務局会議を行いました。

テーマは「災害対応」市役所の危機管理室職員から講義をしていただき、その後各職種がどのように動いたか、今後の備えについて話し合うことに決まりました。

12圏域の医院、薬局、介護保険事業所の方には2月中に案内状がお手元に届きますのでよろしくお願いいたします。



地域包括ケアに向けた取り組み



『元気かい！藤阪』



昨年11月27日の会議では、継続案件である十和音ケアプランセンター藤阪さんの空きスペース活用について、3月から毎月第1、第3木曜日9時30分に十和音さんの店舗前の藤阪ハイツバス停広場で、枚方元気くらわんか体操をした後、十和音さんでちょっとしたカフェを開くという方針に決まり、開催予定に向けて、周知活動や取り組みが軌道に乗るまでの支援をしていく事になりました。

また、老健なごみの里さんからの講師派遣協力一覧表を元に、「地域元気づくり教室」や老人会へ講師依頼をお願いし、目先が変わって楽しい講義でしたといった報告を、とても多く頂きました。

身近な介護事業所の専門職からのお話は、とても好評のようです。



自立支援型地域ケア会議 (12月12日：包括 大潤会にて)

今回も2事例について「より良い自立支援とは？」を観点に意見交換を行いました。

1 事例目は、脳梗塞の既往があり関節リウマチで調理ができないけれども、ご近所の方の協力を得ながら生活されている方の事例でした。痛みがなく楽に生活していくためにリハ職行為評価事業で指導を受けたり、BMIが低い方なので、間食でエネルギーアップする工夫や食事の大切さを栄養士派遣事業も利用してはどうかというアドバイスをいただきました。また脳梗塞の再発予防の視点も必要だということを確認しました。

2 事例目は、整形疾患、喘息など多数の疾患を持ちながらも趣味の楽器演奏を続けるために意欲的に頑張っておられる方の事例で、傾きがちな姿勢を改善するために何が必要かを検討しました。歩行器や杖はお若い方なので、恥ずかしいという気持ちがあり近所では使用されていない状況です。歩行器を使用することで、体幹がもちあがり呼吸も楽になるというメリットをお伝えする、言葉かけの工夫をしてみてもとの意見をいただきました。

利用者を支えるセーピストも環境要因のひとつであること、変わらない環境をどうするかではなくて、変えられるところを考えて、周囲でその方を支援し、できるという自信をもってもらうことが、目標達成につながる（自己効力感を高める支援）ということもアドバイスいただきました。



今後も参加される色々な方々からのご意見を通じて自立支援型ケア会議が充実すればと思います。

本年度は偶数月に開催しておりますので、見学希望は包括大潤会までご連絡下さい。

医療と介護の連携



11.12.13圏域合同 医療連携研修会 11月18日 枚方公済病院にて開催しました。

内容はパーキンソン病のミニ講座を枚方公済病院の高尾看護師にお話しいただき、パーキンソン病の事例を通して連携を考えるグループワークを行いました。

病院とケアマネの意見交換のなかで、お互いの職域に踏み込まないようにしながら連携をとることが大切と話がありました。



おでんの会（医療機関と介護保険事業所の職員有志で在宅療養をサポートする集まりです）

11月16日に菅原生涯学習市民センターに市民公開講座を開催しました。

住み慣れた自宅で最後まで生活するためにどんな専門職が関わっているかを簡単に説明する寸劇と在宅訪問診療をされている医師から自宅で医療・介護は何ができるかの講義を行いました。



地域の事業所紹介



管理者・長尾修一郎です。

こんにちは。デイサービスらくだオアシスです。

入浴と機能訓練を行うデイサービスですが、マッサージが好評で、入浴介助が特に必要ない方でも機能訓練やマッサージを目的に利用してくださっている方もおられます。また施設内の雰囲気も明るく、スタッフ一同利用者様が笑顔で過ごして頂けるようがんばっています。

無料体験を随時受け付けておりますので、ご興味のある方はぜひお問合せください。



マッサージ風景



デイサービスらくだオアシス 072-864-5501 枚方市長尾谷町3丁目17番23号

